

第30回 笠間の陶炎祭

～笠間から元気を発信！～



がんばろう東日本！応援ブースで県産品の野菜、海産物を販売



たくさん並べられた笠間焼の中から品定めをする来場者



今回の震災を受けて、人気の「土面オークション」はチャリティーとして行われ、かさま観光大使も活躍しました

ゴールデンウィーク中、県内最大のイベント笠間の陶炎祭（ひまつり）が、4月29日～5月5日まで笠間芸術の森公園で開催され、昨年を約4万9千人上回る38万人の陶芸ファンで賑わいました。

今回で30回を迎えた陶炎祭は、3月11日の東日本大震災で登り窯が壊れる窯元が続出、出品する作品の多くが割れてしまうなど大きな被害を受け開催が危ぶまれました。それでも、「笠間から元気を発信しよう」と陶芸家約200人が被災を乗り越え出店し開催にこぎつけました。

今回は震災を受け、会場には義援金募集コーナーが設置されたほか、土面オークションや抹茶碗展などのチャリティーイベントも数多く開催されました。「がんばろう東日本！応援ブース」が設置され、風評被害で打撃を受けている県産品の野菜や海産物の直売所、また、原発事故の影響を受ける福島県浪江町の大堀相馬焼も出店されました。

「がんばれ東日本！笠間から元気を発信します！」を合言葉に開催された今回の陶炎祭では、笠間焼の復活を市内外に大いにアピールすることができたと同時に東北の被災者にエールを送ることができました。



筑波大学フォルクローレ愛好会による演奏



友部囃子仲南会による演奏

第40回
笠間のひまつり



第40回笠間つつじまつりが、「がんばれ東日本」上を向いて歩こう笠間」を合言葉に、4月16日～5月15日まで笠間つつじ公園で開催されました。